

心豊かな暮らし

縁

en

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

2008 Vol.9 winter



心豊かな暮らし contents

3 ■ 特集

スーパの冷めない距離で

岐阜県 不破郡 垂井町

M様・H様邸

7 ■ 矢橋グループの街づくり

GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘

第二期好評分譲中

11 ■ 矢橋グループ事業部紹介— 矢橋ホールディングス株式会社

温故知新

13 ■ 矢橋工房— 漆と付き合う

土楽工房と矢橋工房

■ 連載

中山道赤坂つれづれの記 文／故清水 春二
赤坂お茶屋屋敷（九）



GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘 街並



M様邸 外観



H様邸 外観



■特集

スーパの冷めない距離で

岐阜県不破郡垂井町
M様邸・H様邸



営業担当
木材事業本部 住宅部
豊田 悦子

M様ご家族をはじめ、H様ご家族の皆様にも大変お喜び頂けた『住まいづくり・街づくり』が出来たことをとても嬉しく思っております。
今後ともご家族皆様がつながる、心地よい住まい・街であることを願っております。

週末はみんなで楽しいお食事会

岐阜県不破郡垂井町にお住まいのM様、H様は、ご親戚同士。M様は、ご夫婦とお子様の四人家族。H様邸には、ご夫婦とお子様、ご主人のご両親とおばあさまの四世代が、一緒に暮らしていらつしやいます。M様の家を見られたH様は、弊社のオリジナル無垢フローリングや、緑あふれる街並みを気に入って頂き、この街に暮らすことを決定されました。両家はスーパの冷めない距離でいい関係が続いていらつしやいます。

子どもたちは、兄弟のように仲がいいですね。そうなんです。本当に仲良しで毎日遊んでいます。二人は、よくけんかしますが、すぐに仲直りしてしまうんです。

ご家族同士と一緒に過ごされることもあるのですか？

みんなで出掛けることもありますし、週末は一緒に食事をしています。

それは楽しそうですね。

そうですね。準備や後片付けは大変ですけど。(笑)でも何と言っても仲良しのお兄ちゃん二人と一緒に食事できることを毎週とても楽しみにしていますので。

ご親戚が近いと楽しいだけでなく安心ですよ。

まあ近すぎるかなと思うこともありますけどね。(笑)

時にはみんなで、時には個々の時間を楽しむ

H様のご主人の趣味はギター。現在もバンドを組んで活躍中。

奥様、ご主人は、よく趣味室でギターを弾いていらつしやる様ですが・・・

楽しんでいらっしゃるみたいですね。夜中に小さな音が聞こえて来ますよ。

ご主人、趣味室の居心地はいかがですか？

決して広い空間とは言えませんが、趣味室まで実現できると思っていなかったのが本当に満足しています。

お母様はお花が好きでガーデニングを楽しんでいらつしやるようです。そして、M様の奥様はインテリアに興味があり、とてもきれいにコーディネートされています。

ご主人、こんな素敵な空間だと、早く家に帰りたいと思いませんか？

そうですね。落ち着きますし、仕事の疲れもとれますよ。

弊社オリジナル無垢フローリングも、ふんだんに使用して頂き、またお子様の勉強机や収納棚、和室の床下収納などの造り付けの家具等も、とても気に入って頂いているようです。無垢の温もりとともに、これからの温かく、いい関係を続けていって頂きたいと思っています。

Natural Life

—— 緑の中で自然に暮らす ——

家庭菜園

手をかけて育てた野菜は本当においしい。また、自分で作るから安心です。家庭菜園は、実際に植物や土に触れ自然を学ぶことができる食育の場であり、家族や近所の方との会話もはずむコミュニティの場でもあります。自然からのおすそわけ。お隣さんにおすそわけ。

散歩道、草むしり、木の庭、公園、ふしぎな石、かくれんぼ、ばくちの野木、あそびの木のすそわけ。夏の朝、冬の朝、雨上がりの夕、美しきもの、あそびの木のすそわけ。ぜひぜひおすそわけ。ゆたかに、ゆたかに暮らす時間を、楽しんでください。



かそくの木



散歩道



Rの区画



災害対策



コミュファ光



〈キリトリ〉
郵便はがき

503-8790

4 5 3

料金受取人払郵便

大垣局承認

70

差出有効期間
平成 21 年 9 月
30 日まで
(切手不要)

岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1

矢橋林業株式会社

住宅部 行



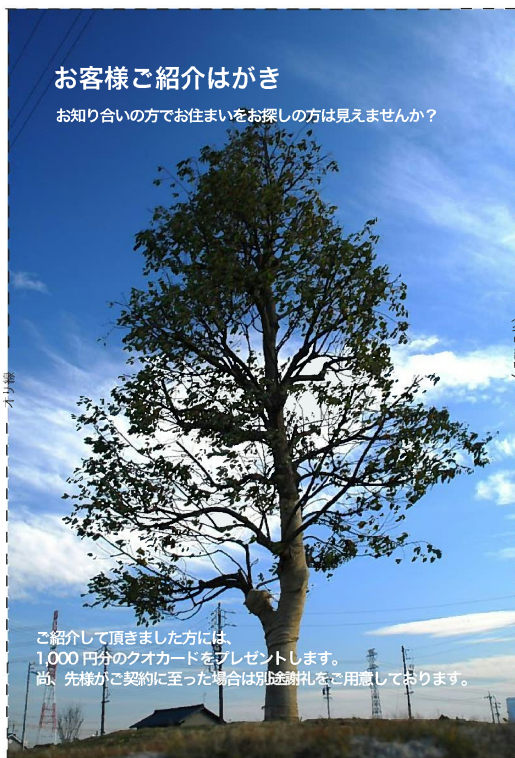
季刊誌に関してのご意見・ご感想などをお聞かせ下さい。

ありがとうございました。

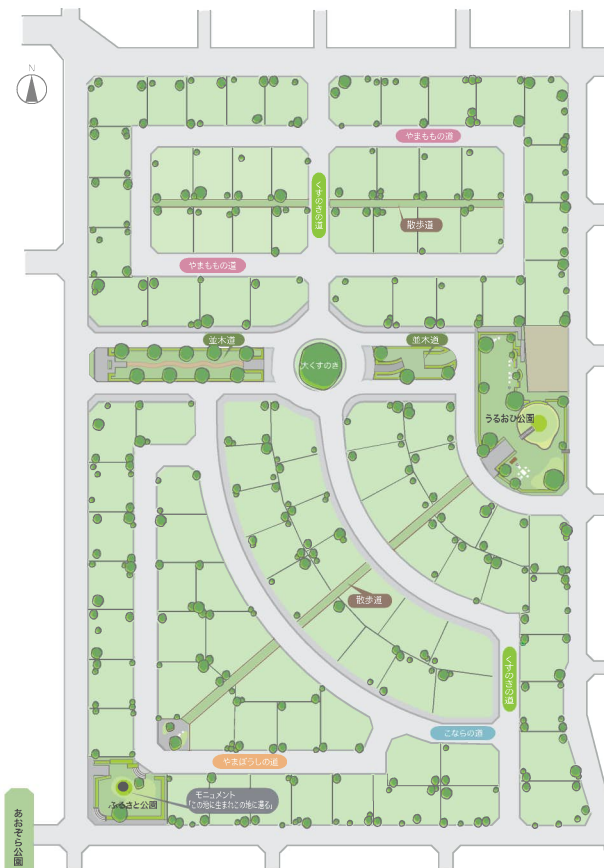
季刊誌 Vol.9

お客様ご紹介はがき

お知り合いの方でお住まいをお探しい方は見えませんか？



ご紹介して頂きました方には、
1,000 円分のクオカードをプレゼントします。
尚、先様がご契約に至った場合は別途謝礼をご用意しております。



全 101 区画 GREEN COURT 荒尾Ⅲ
うるおひの丘



うるおひ公園

小高い丘と、そこから広がる広場は、子どもたちが安全に果てまで遊べる芝生の空間。楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿を、ベンチに腰をかけて見守る。そんなひとときを過ごせる場所です。花の咲く木や実のなる木がたくさんあるので、花を見て四季を知り、実りを味わって四季を感じることで、子どもたちが、自然の姿を発見できる公園です。また、災害時の避難場所として使える機能も備えています。



散歩道

のんびりと歩いてみて下さい。

あおぞら公園からモニュメントのある公園へ、小道を抜けて小高い丘でひと休み。大くすのきと並木道へ・・・



あおぞら公園

「GREEN COURT 荒尾Ⅱ あおぞらの街」中央には、緑あふれる公園が。お散歩がてらにどうぞ。



ふるさと公園

熊野遺跡エリアにあるこの公園では、古代の風を感じることができます。道標をイメージした芝生の丘のモニュメント。そして、太古の人々が食べていたというドングリのなる木。子どもたちが遊びながら、この土地の歴史を感じ、学べる公園です。



過去と未来は織り重なる。おいしい大地の恵みを受け、私たちは守られ日々暮らしている。太古より住んでいた人達の痕跡が残るこの地でまた生活が始まるうとしています。なつかしい空間が生まれていく事を望みながら。



食べられる実のなる木

この街には食べられる実のなる木がいっぱい！おいしい実を探してみよう。

ヤマモモ



丸くて大きな実でジャムやジュースが作れるよ。

スタジイ



小さなドングリになるよ。中は真っ白で食べられるよ。

ヤマボウシ



サッカーボールみたいな形の実は赤くなったら食べられるよ。

ジュンベリー



小さくて黒い実は甘くておいしいよ。

イチジク



濃いむらさき色になったら食べられるよ。

2000年後 ここに住むのは、あなたです！

むかしむかし、きれいな水がゆったりとこの地を流れていました。
それは、はるか遠く弥生の頃。人々はこの場所を選んで、暮らしていました。
それから、約2000年。 やっぱりここには、街ができました。



徳川家康が設けた休憩所の跡地 江戸と京を結ぶ中山道江戸時代の面影が残る 持統天皇の勅願で開基日本三處空蔵として有名 全長約150m 岐阜県最大級の前方後円墳 関ヶ原合戦の際、徳川家康が本陣を置いた 湧き水は岐阜県の名水50選に選ばれている

歴史あるこの街の周辺には自然や歴史を感じるられる見どころがたくさんあります。
この地がみなさまのふるさととなれば幸いです。

名古屋市内も通勤圏内

名古屋市から大垣市は「遠い」と思われがちですが、実は結構近いのです。

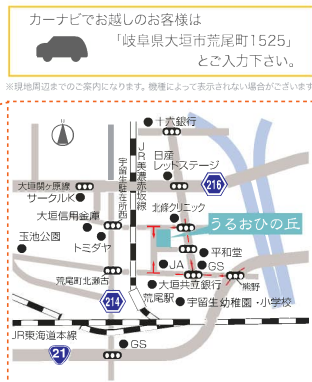
小学校まで徒歩5分

宇留生小学校、幼稚園まで、徒歩約5分。
近いから安心。歩いてお買い物にも行けます。
マイカー自庫で、エコライフ。
病院や銀行、郵便局、コンビニも近く、
便利で快適なロケーション。



LIFE INFORMATION

- 【交通機関】
 - JR美濃赤坂線 荒尾駅.....約500m
 - 近鉄バス 御前神社前停.....約200m
- 【教育施設】
 - 西部中学校.....約1600m
 - 宇留生幼稚園・小学校.....約400m
 - むつみ保育園.....約800m
- 【金融機関】
 - 大垣共立銀行 荒尾出張所.....約300m
 - 大垣信用金庫 荒尾支店.....約200m
 - 十六銀行 赤坂支店.....約1800m
- 【公共機関】
 - 大垣荒尾郵便局.....約300m
- 【医療機関】
 - 北條クリニック.....約400m
 - 金森病院.....約1000m
 - 大垣セントラルクリニック.....約600m
- 【ショッピング】
 - トミダヤ荒尾店.....約400m
 - 平和堂ノースウエスト店.....約500m
 - パロー赤坂店.....約1400m
 - ココストア.....約400m



うるおひの丘 第一期好評分譲中！



全邸 緑あふれるお庭付き

建売区画

モデルハウス同時公開



お問い合わせ：0120-884-039 (住宅部) <http://www.yabashi.co.jp/house/>

(キリトリ線)

■ あなたは現在、矢橋グループの住宅にお住まいですか？

- ☐ はい (ご入居時期 年 月頃/担当:)
- ☐ いいえ

ふりがな お名前	〒
ご住所	
お電話	
E-mail アドレス	

■ ご紹介頂けるお客様について以下の項目をご記入下さい。

- ふりがな
お名前 〒
- ご住所
- お電話
- お探しの住宅
- ☐ 注文住宅 ☐ 分譲住宅
- ☐ その他 ()

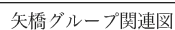
お客様が本書面に記載された個人情報は、当社の営業活動の為に使用することがありますが、
法律で定める場合の他、お客様の承諾なしに他の目的には使用致しません。

準刊誌 Vol.09

のりしろC

のりしろC

矢橋グループ事業部紹介―矢橋ホールディングス株式会社



金牛山愛宕採掘場

石灰焼成炉「ロータリーキルン」

矢橋林業株式会社
代表取締役社長 矢橋龍宜





土楽工房のご主人である福森雅武先生が白洲正子先生と共に父のところにお越しになられたのは30年近く前になると思います。土楽工房の器は毎日の食卓になくてはならない、本当においしいお米のような器です。初めて福森先生にお会いして、先生の作品と土楽工房の器を拝見し、自分も何か人を豊かな気持ちにさせる工芸の仕事をしてみたいと思いました。当時から矢橋林業にはたくさんの広葉樹の木が蓄えられていました。白洲先生にもそのような事を申し上げましたら「漆をやったら」と仰って頂き、それ以来木材の仕上げとして最高の「漆塗り」に取り組むことに致しました。土楽工房の器と矢橋工房の漆器が並ぶ姿を見ると、感慨深い時の流れを感じます。土楽工房の福森先生は白洲次郎、正子ご夫妻が最も信頼をして近くしておられた方だと思っています。また、白洲正子先生がご本『日本のたくみ——土楽さんの焼きもの福森雅武』の中で福森先生の事について書いておられます。 矢橋謹言

<http://www.doraku-gama.com/>



矢橋工房では、土楽工房の商品を取り扱っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

矢橋工房

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町 410-1
TEL 0584-22-3684
E-mail : keiko@mail.yabashi.co.jp
<http://www.yabashi.co.jp/craft/>

■矢橋工房—漆と付き合う 土楽工房と矢橋工房

漆

矢橋工房

<http://www.yabashi.co.jp/craft/>

うみゆり連載集

中山道赤坂つれづれの記

赤坂お茶屋屋敷（九）

故清水 春一

赤坂お茶屋屋敷の規模は、一般の城郭築造とは大きな開きがあります。ともあれ、四周に空濠（幅三間、深さ一間半）と土居（土堤、高さ二間余、基部幅約七間）が巡らされ、四隅には櫓を設けられた跡があります。内部を本丸、外周りを二の丸と呼び、さらに大手門跡、馬場跡などまであつて、文字通り城郭の構えとなっております。普通にお城（城郭）よりは小規模ではあつても、江戸時代における本陣・脇本陣制度の原型として、交通史上貴重な施設です。今後の研究資料として現状保存の必要性は大なるものであるといわれるのも当然でしょう。

さて、顧みて関ヶ原合戦以後、数年にもみたぬ徳川幕府の誕生以来、日なお浅く基礎固めに専念したのであるう家康にとつて、内外多端な活躍の中で、誠に印象深く心に刻み込まれたであろう一つが、赤坂宿とお勝山（関ヶ原合戦最初の家康の本陣）とにまつわる赤坂お茶屋のことであつた、と推察するのは意識過剰でしょうか。

慶長十九年（二六一四）十一月に大坂冬の陣が起こり、翌十二月、東西両軍の和議が成立しますが、さらに翌年の四月（元和元年）大坂夏の陣となります。ついに五月、秀頼は二十三歳、淀君は四十歳を最期に大坂城の露と消え果てました。秀吉一代で築き上げた豊臣の天下は儚い一場の夢と化し、名実ともに完全な徳川の世となりました。

そしてその年七月、家康は「武家諸法度」をはじめ「禁中並公家諸法度」を制定し、文字通り厳しい法律的支配の基礎固めをしました。皇室も公家も含めた貴族の生活や社会的な実力行使を封じ込め、一般武士階級を完全な支配下に押し込めて、徳川政権の安定を盤石なものにしました。つまり慶長十年「お茶屋屋敷」をつくつてから恰度十年を経たとき、ようやく当初計画したお茶屋屋敷を経営する目的を達成した、といつても過言ではない情勢が到来したわけでした。

関ヶ原合戦に大勝した家康は、徳川家開運のゆかりにつながる最初の拠点、お勝山や赤坂一帯に意義深いものを感じながら、当時を偲びつつ、このお茶屋屋敷に休泊することが、たびたび及んだことであろうと推察されます。

大坂冬の陣を終えても、大坂に秀吉の遺族（淀君、秀頼など）が健在である限り、豊臣家の実力は薄らいでもなお、一滴国として、大坂城の存在は、常に不安の夢を抱いたままであつたことでしょう。だからそうした大坂方に対する警備の意味も含めて、江戸―京都の往復の際、天皇家へのご機嫌奉伺を兼ねた道中をするために利用したお茶屋屋敷は、重要な意味をもっていたのです。

が、以来その必要性がなくなつた、とみられるわけです。それやこれや、いろいろ複雑な事情に対処して樹立された家康の秘策の一つ一つが、着々と成功していった徳川幕府の初期における苦心のほどが、ここにも窺えるわけでしょう。

しかし、家康は、そのまた翌年の元和二年三月太政大臣となり、翌四月七十五歳を一期として多端な生涯の幕を閉じ、逝去しました。次いで二代將軍秀忠も、それから十六年後の寛永九年（一六三二）一月、五十四歳で死去します。あとは三代將軍家光に引きつがれていくわけですが、もうそのころには全くお茶屋屋敷は無用の存在となりました。完備されていた施設（建物）も流石に破損甚だしく、ために取り壊されて、屋敷（土地）だけが維持管理されてきたわけです。



お茶屋屋敷東側より お勝山を望む